

2019 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
21110	心理学 Psychology	井手 裕子	基礎	2	選択	2 年後期
<b>科目の概要</b>						
心理学は、「心を読む」ことの前に、行動や反応という実際に目に見える現象を科学することを学ぶことが基本である。具体的には、心の動き(知覚、学習、記憶、言語、感情等)、臨床、発達、社会、対人関係との関連を学ぶ。グループ討議、および調べ学習、その他アクティブラーニング等を用いて、知識、技術の獲得と問題解決能力も身につけていき、客観的な証拠に基づいた科学的な視点を持つことができることを目指す。						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
① 心理学に関する基礎知識を学ぶ			① 刺激と反応、および認知の媒介、心の動き、臨床、発達、社会、対人関係に関する基礎知識を獲得する。			
② 心理学実験を通じて現象の客観的な観察視点を学ぶ。			② 心理学実験演習、および実験結果の考察を行い、心理学的知見を体験的に理解する。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>				
前に踏み出す力	主体性	調べ学習の自発的な学習を行うことができる。				
	働きかけ力					
	実行力	心理学実験演習、グループ討議等の困難な課題にも粘り強く取り組むことができる				
考え抜く力	課題発見力	心理学実験演習で行動の背景を読み取り、刺激と反応を媒介する要因に気づいたり、測定の際の誤差要因に気づいたりすることができる				
	計画力					
	創造力	心理学的知見を土台とした自らの新しい発想を、日常生活場面に応用し問題解決の道筋を考えることができる				
チームで働く力	発信力	グループ討議の結果をクラス全体に分かりやすく発表することができる。また、相互に教え合うアクティブラーニング形式の学習方法を実行することができる				
	傾聴力	発表者の意見を自分の立場に置き換えて、発表者の意図を汲み取りながら聴くことができる				
	柔軟性	グループ討議の際、相手の意見も取り入れながら多角的に物事を見ることができる				
	状況把握力					
	規律性	他の受講者に迷惑がかからないよう私語はしない。授業中に携帯電話を不必要に操作しない。居眠りをしない				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
テキスト:藤田哲也編著「絶対役立つ教育心理学」 ※プリントを適宜配布する。						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
他科目との関連:人間関係論						
<b>学修上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
心理学実験演習やグループ討議を重ねることで、汎用的思考力である高次解釈(なぜ)と低次解釈(どのように)を自在に使えるようにすること。この別々の解釈水準の思考力を持つことで専門的科目の習得が容易になる。注:高次解釈、低次解釈という用語の意味は、難易度や優先順位とは無関係である。前者は物事の中心的意味(理由、目標)に関する思考であり、後者は副次的意味(手段、二次的目標)に関する思考である。			実験、調べ学習、発表、グループ討議、相互に教え合う等の活動に代表される、アクティブラーニング形式での授業に意欲を持って参加すること。ほぼ毎回、課題プリントが課されるため、必ず提出すること。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験	50	①	✓	・刺激と反応、および認知の媒介、心の動き、臨床、発達、社会、対人関係に関する基礎知識を理解しているか。 ・心理学実験演習、および実験結果の考察を行い、心理学的知見を体験的に理解しているか。
		②	✓	
小テスト	30	①	✓	・学習、動機付け、知覚・記憶に関する心理学の基礎知識を理解しているか。 ・心理学実験についての知識を体験的に理解しているか。
		③	✓	
レポート				
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性) 調べ学習等の自主的な学習を行うことができる。
		③	✓	(実行力) 理学実験演習、グループ討議等の困難な課題にも粘り強く取り組むことができる
				(課題発見力) 心理学実験演習で行動の背景を読み取り、刺激と反応を媒介する要因に気づいたり、測定の際の誤差要因に気づいたりすることができる
				(創造力) 心理学的知見を土台とした自らの新しい発想を、日常生活場面に応用し問題解決の道筋を考えることができる
				(発信力) グループ討議の結果をクラス全体に分かりやすく発表することができる。また、相互に教え合うアクティブラーニング形式の学習方法を実行することができる
			(傾聴力) 発表者の意見を自分の立場に置き換えて、発表者の意図を汲み取りながら聴くことができる	
			(規律性) 他の受講者に迷惑がかからないよう私語はしない。授業中に携帯電話を不必要に操作しない。居眠りをしない	
その他	10	①	✓	調べ学習や実験結果の要約をプリントで提出することが求められる。 すべて提出すると、10点
		③	✓	
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
レポート・社会人基礎力(学修態度)・その他(課題)の3つの評価方法において満遍なく十分な力を発揮できればA。3つの評価方法においてほぼ、あるいは完璧に力を発揮できればS。	筆記試験・社会人基礎力(学修態度)・その他(課題)の3つの評価方法において十分ではないが力を発揮、もしくは2つの評価方法において十分な力を発揮できればB。2つの評価方法において十分ではないが力を発揮、もしくは1つの評価方法において十分な力を発揮できればC。

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション (心理学とは、心理学実験演習とは)を行う。	講義 質疑応答	心理学がどのような科目であるかを知ることができる。 (復習)配布プリントを心理学実験演習の概要を理解できる	(復習)配布プリントを見直す。	180	主体性 実行力 規律性
2週 /	学習を学ぶ。	講義 グループ討議 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	学習に関する基礎知識を獲得できる。 自分の生活に関連づけるために例をあげることができる。	(復習)配布プリントを見直す。	180	実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性
3週 /	動機づけを学ぶ。	講義 グループ討議 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	動機づけに関する基礎知識を獲得できる。 自分の生活に関連づけるために例をあげることができる。	(復習)配布プリントを見直す。	180	実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性
4週 /	知覚・記憶を学ぶ。 (知覚の仕組み、記憶の仕組み)	講義 グループ討議 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	知覚と記憶に関する基礎知識を獲得できる。	(復習)配布プリントを見直す。	180	実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性
5週 /	心理学実験演習を行う。 (1)記憶力テスト他	心理学実験演習	記憶力テストの体験を通して記憶とは何かを理解できる。	(復習)配布プリントを見直す。	180	実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性
6週 /	感情心理学を学ぶ	講義 グループ討議 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	感情の基礎知識を獲得できる。	(復習)配布プリントを見直す。	180	実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性
7週 /	人間発達を学ぶ(1) 胎児期、乳幼児期、児童期	講義 グループ討議 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	乳幼児から児童期までの発達段階を見通すことができる。 言語、対人関係、等を中心として各発達段階の特徴を理解できる。	(復習)配布プリントを見直す。	180	主体性 実行力 規律性
8週 /	人間発達を学ぶ(2) 思春期・青年期、成人期、中年期、老年期	講義 グループ討議 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	青年期から老人期までの発達段階を見通すことができる。 対人関係、自己概念を中心として各発達段階の特徴を理解できる。	(復習)配布プリントを見直す。	180	主体性 実行力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	臨床心理学を学ぶ。 (精神的健康、精神病、ストレス、予防)	講義 グループ討議 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	臨床心理学の基礎知識を獲得できる。反応スタイルの実験演習を通してストレス対処方略(気晴らし方略、俯瞰方略、非永続性焦点方略)を体験的に理解できる。	(復習)配布プリントを見直す。	180	主体性 実行力 規律性
10週 /	臨床心理学を学ぶ (精神分析理論の発達段階)	講義 グループ討議 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	精神分析理論を理解することができる。	(復習)配布プリントを見直す。	180	主体性 実行力 規律性
11週 /	社会心理学を学ぶ (バイアス、偏見、ステレオタイプ)	講義 グループ討議 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	精神分析理論を理解することができる。	(復習)配布プリントを見直す。	180	主体性 実行力 規律性
12週 /	質問紙調査法とその実施方法について学ぶ。 (1)準備、実施	講義 調べ学習 グループ討議 調査体験 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	質問紙調査法に関する基礎知識を獲得できる。また、自らが調査したい内容を精査し、アンケート調査を自作、実施できる。	(復習)配布プリントを見直す。 アンケート調査を自作し実施する。	180	主体性 実行力 規律性
13週 /	質問紙調査法とその実施方法について学ぶ。 (2)発表、共有	講義 発表 グループ討議 調査報告 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	実施した質問紙調査の内容を要約し、結果を発表することができる。また、他者の発表を聴いて自らの日常生活に応用するためのヒントを獲得できる。	(予習)アンケート調査を自作し実施する。	180	主体性 実行力 規律性
14週 /	オリジナルの心理学実験を組む。 (1)準備、実施	講義 調べ学習 グループ討議 調査体験 前回の配布プリントのフィードバックおよび解説	これまで体験してきた心理学実験演習を土台とし、自らの関心のある心理学的テーマを知るために、実験を考案、実施できる。	(復習)配布プリントを見直す。 心理学実験を実施する。	30 150	主体性 実行力 課題発見力 創造力 柔軟性
15週 /	全体の振り返りとまとめ	調べ学習 質疑応答 前回のプリントのフィードバックおよび解説 授業内試験	心理学の基礎知識を、具体的な日常生活の問題解決について、自らまとめ理解できる。	(予習復習プリントを見なおす)	180	主体性 実行力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力